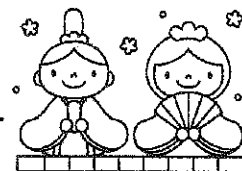


給食便り 3月号

平成31年3月 志村さかした保育園

暖かい日が増え、梅の花も咲き春の始まりを感じられる季節になりました。季節の変わり目で体調を崩しやすくなります。風邪に気を付け元気に4月を迎えましょう。

ひなまつりのいわれ “桃の節句”



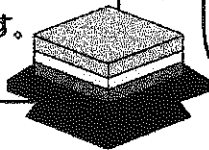
五節句のうち上巳（じょうし）と呼ばれる3月3日は、桃の花が咲く季節であることから、【桃の節句】と呼ばれています。ひなまつりは平安時代の貴族子女のひな遊びや江戸時代の庶民の人形遊びが結びついて行事となったものです。

ひな祭りが女の子の成長や幸せな結婚を願うものになったのは江戸時代になってからです。雛人形を雛壇に飾り、白酒やひしもちをそなえ、ごちそうを食べるようになりました。

ひなまつりにまつわる食べ物

ひしもち

色の意味は複数の由来がありますが、緑は「健康や長寿」、白は「清浄」、紅は「魔除け」を意味すると言われています。ひし形は「心臓」を表していると言われ、災厄を除こうという気持ちや、親が娘の健康を願う気持ちが込められています。



ひなあられ

お米を蒸して乾燥させたものを煎って膨らませ、色を付けたお菓子です。主に紅、緑、黄、白の4色でそれぞれ四季を表していると言われています。1年を通じて健康でいられますようにという願いが込められています。



白酒

もともとは桃の花びらを漬けた「桃花酒」というものが飲まれていたと言われています。桃は邪気を祓い、気力や体力の充実をもたらすということで、薬酒のひとつとして中国から伝えられました。

桃のお酒と合わせて紅白として祝福を表しています。



はまぐり

一対の貝殻は、それ以外の貝と合わないことから、結婚の縁起物に使われます。女の子の幸せな結婚への願いがこめられています。

